

ストパネ工法



ストパネ工法とは

1. 工法概要

鋼矢板の腐食対策が急務となっている護岸や農業水利施設の腐食領域を軽量プレキャストパネルと裏込めコンクリートの複合部材により補修することで施設の長寿命化を図るストックマネジメントに適した工法です。

2. 特徴

◆ライフサイクルコストの低減

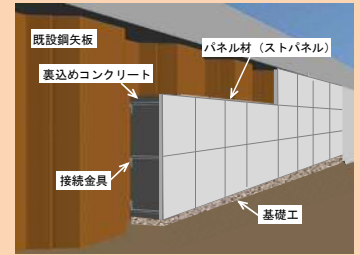
プレキャストパネルは、従来の有機系・無機系の塗装工法や被覆工法と比較して耐久性・摩耗性に優れています。これにより、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減します。

◆優れた施工性

プレキャストパネルと汎用材料の現場打ちコンクリートで鋼矢板を被覆するため、特殊な施工技術や材料を必要としません。また、非かんがい期である秋冬の施工環境にも対応可能です。一般的な土木工事で施工が可能な補修工法です。

◆施工性の向上

軽量なプレキャストパネルは人力施工が可能です。農業用水路のみならず、狭隘な水路から大型河川まで様々な鋼矢板護岸に対応できます。



工法概要図

使用材料

軽量プレキャストパネル		接続金具	
形状寸法	500mm×500mm×30mm	鋼板: SS400相当	設計基準強度
製品重量	16.9kg/枚	150mm×150mm	粗骨材最大寸法
構成材料	普通ポルトランドセメント	150mm×75mm	スランプ
細骨材	耐アルカリ性ガラス繊維	ボルト: M10メッキ	コンクリートの種類
	ステンレスメッシュ筋	電気亜鉛メッキ処理	セメントの種類
			裏込めコンクリート配合
			18N/mm ²
			25mm
			12cm
			普通
			高炉B種

※上記の仕様は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

官民連携新技術研究開発事業



※ストパネ工法の性能を実証するため、農林水産省 官民連携新技術研究開発事業にて、各種性能試験を実施しました。これらの性能を定量的に評価することで、本工法の信頼性を確認しています。

施工手順



施工実績

